

# 技術系企業の基礎は、“ひと”づくり。

「御社の主力の一つ、全自動播種機は、全国に先駆けて開発されたものだそうですね。」

「わが社は私の祖父が、終戦後に農業用刃物の鍛冶業としてスタートしました。昭和40年代に耕うん機用車輪の製造に転進し、トラクターメーカーとの取引が始まりました。その関係で、メーカーが田植機を開発、市場に出そうとした時、それを支援する機器の開発を打診され、社をあげて開発に取り組みました。」

昭和43年、水稲育苗用播種機を開発、生産販売を開始しました。他社に先んじて開発することができたおかげもあり、現在では播種

今回から始まる本コーナーでは、宇都宮市内で“ものづくり”や“商品開発”などに力を注ぐ「未来志向型企業」の経営者にご登場いただき、企業経営や新たな取り組みなどをお話しいただきます。第1回は全自動播種機や育苗関連商品、園芸関連商品など、農業用機器製造を行っている、株式会社スズテックの鈴木康夫社長です。

株式会社スズテック 代表取締役 鈴木康夫氏  
社長の後ろは同社の敷地内で製造されている豆苗



機については、シェア50%以上をキープしています」

「現在ではその他にもさまざまな機器や商品を手がけておられますね。」

「水稲用播種機の技術を用いて、花卉園芸用の育苗関連機器を開発し、生産販売しています。また平成3年からは、中華料理でよく使われる豆苗の製造販売も開始しました。これも、これまでわが社で蓄積してきた技術の活用です」

「現在の課題は何でしょうか。」

「水稲の生産量は年々減少しています。それは私どものマーケットの縮小でもありませんから、新たな分野の開発と収益性向上が、大きな課題ですね。現在では中国をはじめとして、アジアマーケットへの進出を考え、中国についてはすでにアプローチを行っています。」

また従来とは違う技術開発も手がけています。平成23年に販売を開始した過熱水蒸気式暖房機は、その一例です。私どものような研

## Information



(株)スズテック本社屋

株式会社 スズテック  
代表取締役 鈴木 康夫

創業/昭和21年

業務内容/

水稲育苗用関連機器・園芸関連機器  
トラクタ作業機および関連機器・環境関連機器製造

住所/

本社 宇都宮市平出工業団地44-3

☎028-664-1111

http://www.suzutek.co.jp

究開発型企業では、技術継承が大きな課題です。これにも力を注いでいますが、なかなか難しいですね。技術を伝える前に、まず社員相互のコミュニケーションを確立する必要がありますが、世代の壁はなかなか超えがたいところがあります。

また若い人は農業そのものには接した事がない場合が多いため、農業への理解が浅くなりがちです。そういう人が開発をしても、本当のニーズをつかんだ商品には、なかなかなりにくいのではないのでしょうか。

私どもでは、社員5人以上で親睦を図る際には補助をだす制度を導入しています。コミュニケーションを促進し、社内の意識を共通化させることを狙っています。

また農業研修なども積極的にを行っています。少しでも農業の現

場を体験する事で、本当のニーズを把握して欲しいと考えています。

企業の基本は“ひと”です。“ひと”づくり、コミュニケーション促進を、今後さらに真剣に取り組んで行きたいと考えています」

会社の中心商品の一つ、全自動播種機THK200B

